

第3章 児童会活動



児童会活動

1 児童会活動とはどのような活動ですか。

学校生活を共に楽しく豊かにするために、学校の全児童をもって組織する異年齢集団の児童会によって行われる活動です。

また、学級活動にはない異年齢での活動が児童会活動の特質です。



2 活動内容はどのようなものですか。

全児童をもって組織する児童会は、学校生活の充実と向上を図る活動として3つあります。

(1) 児童会の計画や運営

児童が、教師の適切な指導の下に自発的、自治的な活動として児童会活動を展開するためには、年間や学期、月ごとなどに活動計画を立て、役割を分担し、協力して運営に当たるようにする必要があります。児童会活動の目標の実現に向けて、主として運営に当たる高学年が中心となって話し合い、児童会としての意見をまとめたり、計画を立案したり、運営にあたります。

「自発的、自治的」な活動を実現するためには、具体的な「活動計画」が必要になってきます。具体的な計画がないところに自発的、自治的な実践は生まれません。また、「運営」面では役割分担を明確にすることがポイントです。協力して諸問題を解決するためには、それぞれの役割が明確になっていなければなりません。自分の役目がはっきりして初めて協力ができるのです。そのためにも代表委員会、委員会という具体的な場や機会の確保とその場における教師の適切な助言が必要になってきます。



(2) 異年齢集団による交流

児童が、児童会集会活動など学年や学級の異なる他者と共に楽しく触れ合い、交流を図ることによって、望ましい人間関係を深めるような異年齢集団による活動です。

異年齢集団活動として行う話し合い活動や各委員会からのお願いや報告、発表などの活動も異年齢集団による交流のひとつです。特に、全校児童が一堂に会して行われる全校児童集会は、児童の自発的、自治的な活動を効果的に進めるとともに、異年齢集団による交流のよさを一層重視して計画・運営できるようにすることが大切です。

(3) 学校行事への協力

児童が、学校行事の各種類の内容の特質に応じて、計画の一部を担当したり、児童会の組織を活用して学校行事の運営に協力したりする活動です。

学芸会や運動会、学年を超えて行う遠足や集団宿泊活動などの学校行事の一部を、児童の発意・発想を生かした計画によって実施したり、各委員会の活動内容を生かした協力的な活動を取り入れて実施したりすることです。また、学校生活づくりの活動を効果的に展開するためには、家庭や地域の人々との連携を図ることも大切です。



3 形態はどうなっていますか。

主として高学年が運営に当たる児童会の形態は3つあります。

(1) 代表委員会（児-P 4～参照）

自分たちの学校生活の充実と向上を図るために、学校生活に関する諸問題について話し合い、解決を図るための活動です。

代表委員会の話し合い活動の計画や準備を行い、円滑に運営する組織として運営委員会（児童会計画委員会）を設置し、適宜交代して経験ができるよう工夫することが必要です。

(2) 委員会活動（児-P 16～参照）

学校内の自分たちの仕事を分担処理するための活動です。主として高学年の全校児童が、いくつかの委員会に分かれて、自分たちの学校生活を向上発展させ、より豊かにしていくために、児童の発意を生かし、創意工夫して実際の活動を分担して行うものです。

(3) 児童会集会活動（児-P 24～参照）

児童会の主催で行われる集会活動です。全校又は学年の児童が一堂に会して、活動の計画や内容についての協議、活動状況の報告や連絡、集会など全校集会や学年集会などが行われます。

4 運営をどのように図ればよいのでしょうか。

(1) 自発的、自治的な活動を促す指導計画を作成する。

児童会活動は、学校によって施設や設備、教師や児童数が異なることから、学校の実態に即して、児童の思いや願いを生かすとともに、それぞれの学校が創意工夫して児童会の組織を編成し、指導計画を作成することが大切です。

児童の手で解決できない問題など児童の自治的な活動として任すことのできない条件を明確にして指導に当たる必要があります。

***児童の自治的な活動として任すことのできない条件**

- 相手を傷付けるような結果が予想される問題
- 教育課程の変更に関わる問題
- 校内のきまりや、施設・設備の利用の変更などにかかわる問題
- 金銭の徴収にかかわる問題
- 健康・安全にかかわる問題 など



(2) 異年齢集団の交流による活動を重視する。

児童会活動は、望ましい人間関係を形成し、よりよい学校づくりを目指して、全児童が協力して諸問題を解決しようとする異年齢による集団活動です。児童一人一人の学校生活を楽しく豊かにしたいという願いを具体的に展開するためには、児童の活動に期待するところが大きいのであり、そこに児童会活動の意義があるといえます。

常に児童自身に集団の一員として、よりよい学校生活づくりに参画できるように、学校の諸問題に気付くようにするとともに、自発的、自治的な活動の意欲を高め、児童自らが解決しようとする意欲や態度を育てることが大切です。

教師は、児童の実態を十分に把握し、適切な指導の下に、全校児童の意向を反映できるような活動を展開するための配慮が必要になります。

(3) 学校行事との関連を図った活動を展開する。

学校行事は、教師の指導の下に実施され、教師の意図的・計画的な活動が原則となりますが、内容によっては児童会との関連を図りながら活動を展開するほうが成果があがるものもあります。

学校教育目標の具現化を目指し、学校の教育計画と特別活動の全体計画、児童会活動の計画との関連を図りながら、重点化して取り組んでいくことが大切です。

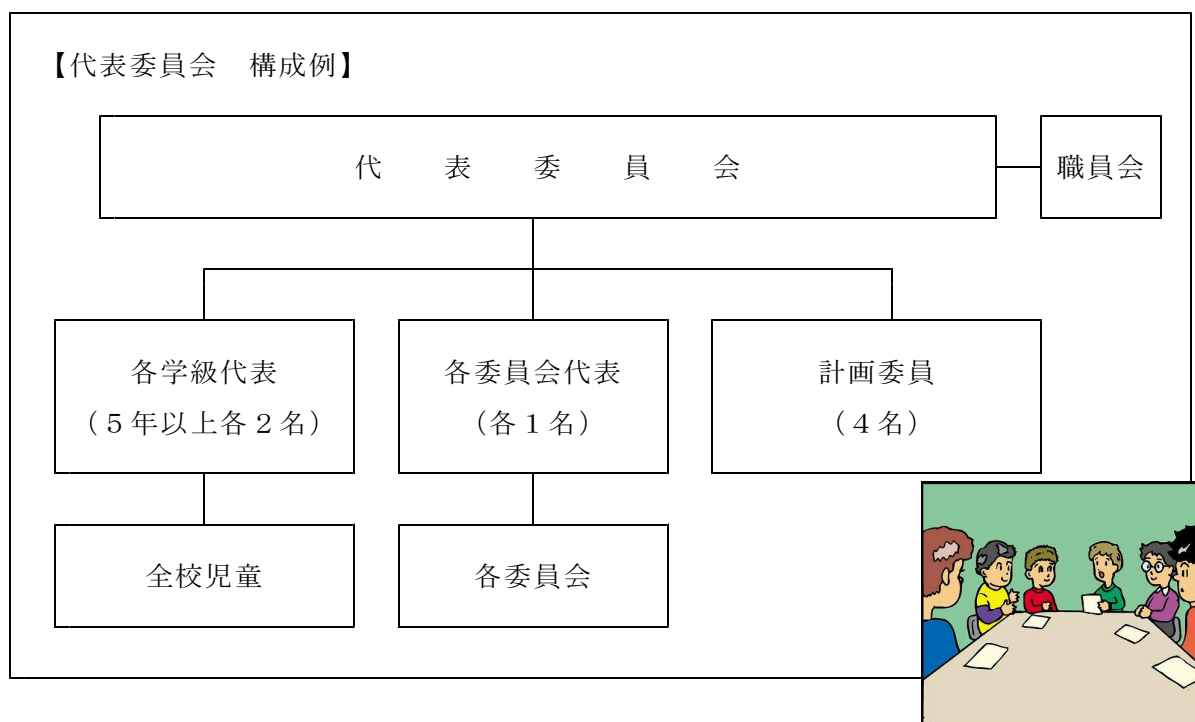
代表委員会活動

1 代表委員会活動とはどのような活動ですか。

代表委員会活動は、自分たちの学校生活の充実と向上を図るために、学校生活に関する諸問題について話し合い、解決を図るための活動です。主として高学年の代表者が参加し、学校生活に関する諸問題について話し合います。全校児童の意向を反映し、学校生活をより向上発展させるために自発的、自治的に行われることが大切です。

2 代表委員会はどのような組織をつくればよいのですか。

高学年を中心として、各学級（学年）の代表、各委員会の代表、計画委員（運営委員と呼ばれることもあります、本書では計画委員とします）によって組織されることが一般的です。必要に応じて、各クラブの代表、低学年の学級担任に参加してもらうことも考えられます。また、全学級担任にオブザーバーとして参加してもらうのもいいでしょう。



* 各学級の代表は、高学年の児童で構成するのが望ましいのですが、学校規模などの実情に応じて、柔軟に編成することも効果的です。例えば次のような編成も考えられます。

小規模校の場合・・・中学年以上の代表

極小規模校の場合・・・全児童参加による全校児童会 など

3 代表委員はどのように選出すればよいのですか。

- (1) 学級代表 年間にわたり固定せず，できるだけ多くの児童が参加できるような配慮が必要です。各学期ごとに交代して参加させるのもひとつの方法です。
- (2) 委員会代表 各委員会での互選によって選ばれた委員長が，委員会を代表して参加するのが一般的です。学級代表と重なる場合には，委員会代表を別に選出するなどの配慮が必要です。

＊話し合う内容によっては，各クラブ代表に参加してもらうことも考えられます。

4 計画委員の構成はどのようにすればよいのですか。 また，仕事の内容にはどのようなものがありますか。

学校によって様々ですが，次のような構成が一般的です。

- 司会 2名・・・代表委員会・計画委員会の進行
- 記録 2名・・・黒板記録 1名 ノート記録 1名

かつては会長等の役職を決めて固定してしまうことが多かったのですが，リーダー育成の機会を均等にするという視点から考えると望ましいことではありません。役割は固定せずに，輪番で実施することが効果的です。

計画委員の選出にあたっては，6年生の代表委員の中から互選で選出するのがよいと思われます。学期や前後期で交代して，なるべく多くの児童が経験できるように配慮することも大切です。仕事の内容は次のようなものが考えられます。

- 議題集め
- 議題の提案
- 議題案を整理・検討し，議題を決定
- 代表委員会実施計画の作成
- 取り上げられなかった議題の処理
- 代表委員会の運営
- 代表委員会で決まったことについての広報活動



5 代表委員会の活動時間はどのように確保すればよいのですか。

代表委員会には、計画委員会と代表委員会の2つの活動を行う時間を確保する必要があります。

(1) 計画委員会 議題の選出や代表委員会実施計画の立案などを行います。定期的に時間を確保して実施することが望ましいと思われませんが、高学年で取り組める点や、人数的にも小回りが利くという点から考えて、朝の活動や休み時間、放課後などの時間を有効に活用していくことも考えられます。

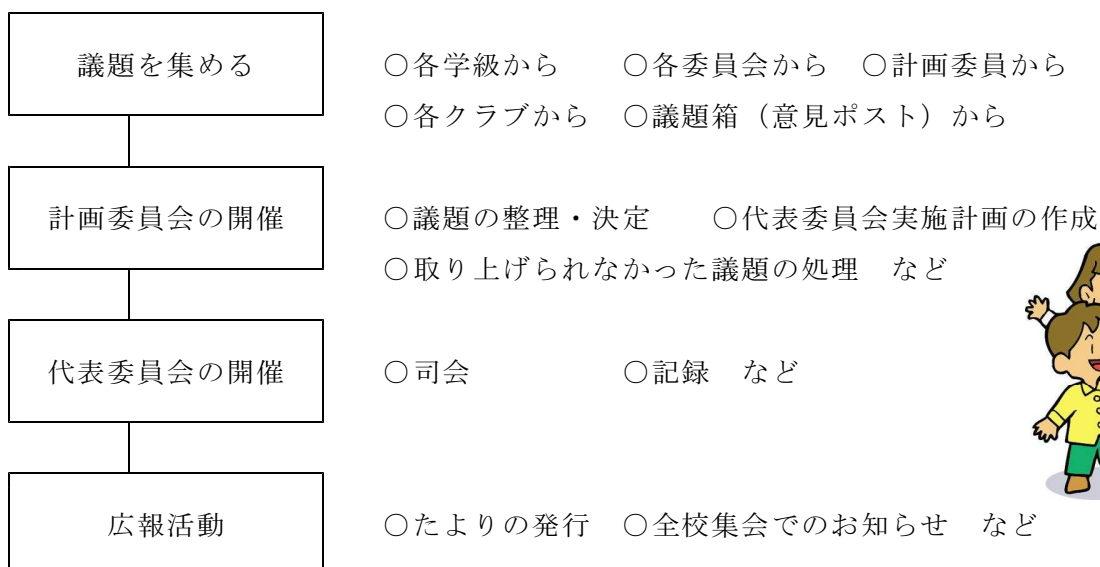
(2) 代表委員会 6校時に組み入れるなどして、月に1回程度、定期的実施するのがよいでしょう。代表委員会を月1回木曜日の6校時に設定し、その日は短縮授業を行うとともに、校内研修の開始時刻を遅らせるという工夫をして、代表委員会の時間を確保するという方法もあります。また、必要に応じて臨時に実施することも考えられます。

代表委員会に参加しない児童は、教室で係活動をするなどして、きちんとした時間枠の中で代表委員会が実施されるよう配慮することが大切です。

*休み時間や放課後は児童会活動の時間にあてない方がよいという考えもあるようですが、時間の確保がなかなかできない点から、仕方ない面もあるようです。実際、昼休みや放課後などに行っている学校も多いようです。大切なことは、「させられる児童会活動の時間」ではなく、「児童が喜びを感じながら、自発的に取り組む児童会活動の時間」を児童とともに考え、工夫しながら確保していくことではないでしょうか。

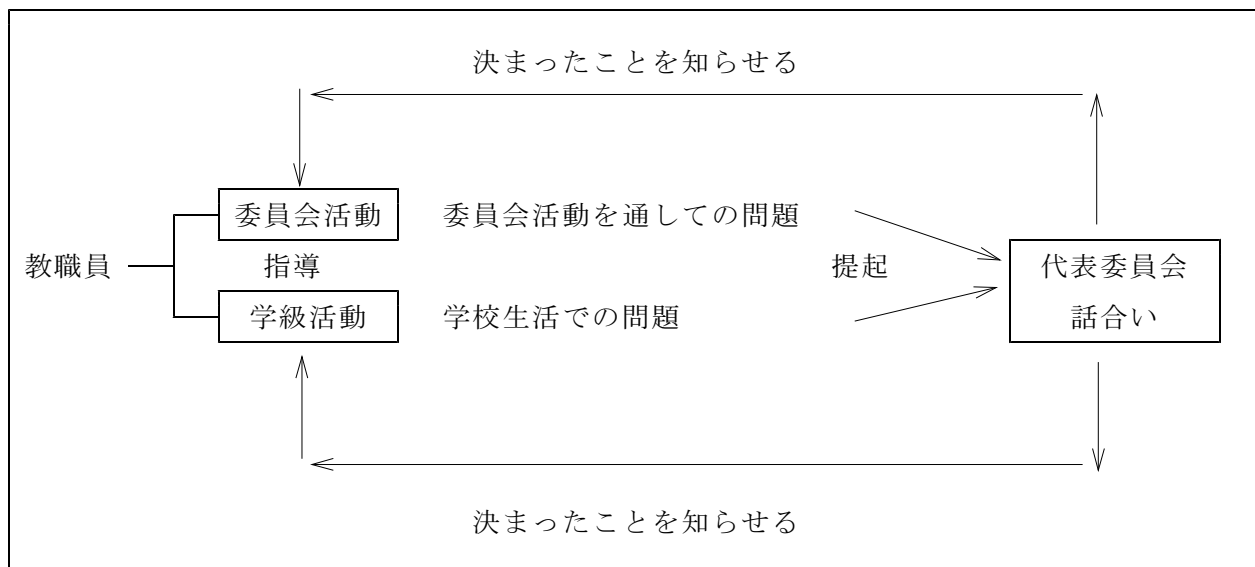
6 代表委員会の実際の運営はどのようにすればよいのですか。

次のような流れが一般的です。



7 代表委員会ではどんな支援をすればよいのですか。

代表委員会の指導には教職員全体の指導体制が必要です。教師は委員会活動などで何らかの役割や機能を分担しています。また、学級担任として、児童からの問題提起を受けることも多くなります。委員会活動での問題や学校生活の問題を代表委員会の場で話し合い、解決したり、反対に代表委員会が出された議題を各学級で話し合ったりすることが必要とされます。(下の図参照)



8 どんなことに気をつけて支援すればよいのですか。

代表委員会は、児童の自主性を重んじながら指導することが大切です。学校側が必要だから話し合うといった教師の考え方によって話し合われるものではありません。あくまでも、学校生活の充実と向上を目指した児童の自発的、自治的な活動が尊重されなければなりません。もちろんこれらの活動はすべて指導計画に基づいて、教師の適切な指導のもとに実践的に行われるべきものであることに変わりはありません。



(1) 低学年、中学年の児童の参加を工夫します。

児童会活動は、全校児童によって組織されますが、実際の運営は主として高学年の児童が当たることになります。そのため、高学年児童や一部の児童の活動にならないように、低学年や中学年の児童の希望や意見を反映させるようにしたり、時には代表委員会への参加や役割分担をさせるなどして、間接、または直接的に参加できるよう配慮することが大切です。

(2) 年齢の異なる児童の交流を深めます。

話し合いでは、異学年の児童の意見や考え方を発表し合い、学校全体としての意見をまとめていきます。特に下学年の児童の意見を最初に発表させるなどして、自分たちも参加しているという意識を育てることが大切です。

(3) 組織の設定や参加の仕方に児童の意見や希望を生かします。

学校や教師の都合だけで一方的に組織などを決めず、児童の希望を尊重して決めるようにしましょう。

(4) 過程を重視した指導・助言をします。

児童の活動を放任したり、逆に手際の良い活動や結果のみにこだわり、それを子どもに要求したりするようでは子どもの自発的、自治的な態度は育成されません。子どもたちの努力を認め、積極性や意欲を大切にしながら、自分たちでできたという充実感や満足感を持たせるように適切な指導・助言をしていきましょう。

(5) 自治的活動の範囲を明らかにし、児童の手で活動計画を立てられるようにします。

児童が主体的に、創意工夫を生かして実践活動を行うためには、自治的に活動できるところとできないことをきちんと把握させた上で指導・助言するようにしましょう。

9 どんな議題がよいのですか。

学校生活上の諸問題には、児童会集会活動や学校行事に関するもの、きまりや約束に関するもの、各委員会の活動に関するものなど様々なものが挙げられます。その中で望ましい議題を選ぶ条件としては次のようなものが考えられます。

【議題選定の条件】

- 全校児童の学校生活上の共同の問題であること
- 児童の手によって実践可能な見通しのつくものであること
- 児童の自治的な活動の範囲内で創意工夫の余地をもつものであること
- 児童にとって今、切実な問題となっているものであること



また、望ましくない議題としては次のようなものが考えられます。代表委員会以外場で考えたり、指導したりする内容です。

- △生徒指導として教師が主になって指導すべき問題
(生活目標の設定や守り方、夏休みの過ごし方など)
- △学校行事などの事前・事後に指導すべき問題、学校の管理・運営上の問題
- △全校児童の共同の活動となりえない問題

取り上げられなかった問題については、提案者が納得するようにその処理の方法を工夫することも大切です。児童会からのお知らせをしたり、学級活動での話し合いをもつようにしたりします。

10 議題にはどのようなものがありますか。

代表委員会の議題としては主に学校生活づくりに関するもの、学校行事や児童会集会活動に関するもの、委員会活動に関するものなどがあります。よりよい学校生活づくりに参画するためには、学校の実態に合わせて議題を選ぶことが大切です。

きまりをつくるための話し合いではなく、話し合いの柱を立てて学校生活を充実させる手だてを考える話し合いができるようにしましょう。例えば、代表委員会では、生活目標を決める議題はふさわしくありません。学校生活をよくするために守るべき目標は生徒指導主任を中心にして、教師が話し合い、守るべき要点を指導するべきです。年間実施時数が限られている代表委員会の時間には、児童の自発的、自治的な活動につながる議題を選定して話し合わせましょう。具体例を以下に挙げますので、参考にしてください。

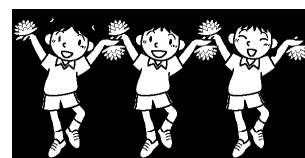
(1) 学校生活づくりに関するものについては、次のようなものがあります。これらを話し合うときは、各学級での学級活動と連携させながら話し合うことが大切です。

- ○○小学校のマスコットキャラクターをつくろう
- あいさついっぱいのお○小学校にしよう
- 雨の日の楽しいすごし方を考えよう
- おそうじ大作戦をしよう



(2) 学校行事や児童会集会活動に関するものについては、次のようなものがあります。これらを話し合うときは、児童に任せることと教師がすることを分けて、事前に指導しておくことが必要です。

- 1年生をむかえる会をしよう
- 夏のつどいをしよう
- 運動会を盛り上げよう
- ふれあい遠足を盛り上げよう
- 6年生を送る会をしよう



(3) 委員会活動に関するものについては、次のようなものがあります。これらを話し合うときは、委員会からの提案理由を理解して、学校生活を充実させる手だてを話し合うことが大切です。

- ○○小図書まつりをしよう (図書委員会)
- なわとび大会をしよう (スポーツ委員会)
- ○○の被災者の方々にみんなでできることをしよう (ボランティア委員会)
- おいしい給食いただきます集会をしよう (給食委員会)
- お世話になっている地いきの人に○○小新聞をプレゼントしよう (掲示広報委員会)

1 1 活動計画はどのように立てるのですか。

児童会の活動を自発的、自治的活動として展開するために、全校児童のことを考えて具体的に企画し、役割分担を明確にして運営できるように適切な助言をすることが大切です。

＜計画委員会の活動計画＞

＜代表委員会の活動計画＞

第〇回 計画委員会

- 1 日時 〇月〇日（〇）〇時〇分～
- 2 場所 児童会室
- 3 議題案
- 4 話合いの内容
 - (1) 議題決定
 - (2) 役割分担
 - (3) 話合いの柱と順序
 - (4) 準備すること

第〇回 代表委員会

- 1 日時 〇月〇日（月）6校時
- 2 場所 児童会室
- 3 役割分担の紹介（司会、記録など）
- 4 議題発表
- 5 提案理由の発表
- 6 話合いの柱の提示
- 7 話合い
- 8 決まったことの発表
- 9 がんばった人の発表（相互評価）
- 10 先生の話

1 2 代表委員会の事例にはどんなものがありますか。

（1）学校の生活づくりについて

① 議題 あいさついっぱいの〇〇小学校にしよう

② 提案理由 朝、ほかのクラスの友だちに会ってもあいさつしても、あいさつが返ってこないことが多い。そこで、〇〇小学校のみんなが明るい元気のよいあいさつをし合って、もっと楽しい学校にしたいと思った。

③ 活動の流れ

ア 各学級で、あいさつがいっぱいになるような具体的な方法を考えてもらう。

イ 代表委員会で話し合う。

ウ 代表委員会で決まったことを知らせる。

④ 話合いの留意点

まず、各学級で、児童が意欲的にあいさつをすることができる方法を話し合ってもらいます。あいさつカードやポスターの作成などの意見が出るのが予想されます。そのような場合、事前に職員間で話し合って留意点を共通理解しておきます。

また、ボランティア委員会にあいさつボランティアをしてほしいと要望する意見を出すのも一計です。



(2) 学校行事や児童会集会活動について

- ① 議題 ふれあい遠足をもり上げよう（学校行事「全校遠足」への協力）
- ② 提案理由 1年から6年までのふれあい班の仲間がもっとなかよくなるような遠足にしたい。

③ 活動の流れ

- ア 各学級で、昨年度の反省をもとに今年度の工夫を考えてもらう。
- イ 代表委員会で話し合う。
- ウ 代表委員会で決まったことを知らせる。



④ 話合いの留意点

行事や集会では、教師が指導することと児童に任せることを明確に分けて、児童にはっきりと指示しておくことが大切です。縦割り班で活動する場合、異学年の友だちを思いやる話合いができるように助言する必要があります。



(3) 委員会活動について

- ① 議題 お世話になっている地いきの人に〇〇小新聞をプレゼントしよう（掲示広報委員会）

- ② 提案理由 P T Aの新聞のように〇〇小のニュースを知らせれば、総合的な学習やパトロールなどでお世話になっている地いきの方々に喜んでもらえるだろう。

③ 活動の流れ

- ア 掲示広報委員会の児童の希望を話し合う。（委員会活動）

全校みんなが記事やイラストを書くことを楽しめるような活動を話し合って提案する。

- イ 代表委員会で話し合う。

掲示広報委員会からの活動計画を学校全体で話し合う。その際、各学年や各委員会の特性を生かした記事やイラストを分担し、全員が新聞づくりを楽しめるように話し合う。

- ウ 新聞を作ってプレゼントをする。

④ 話合いの留意点

委員会からお世話になっている地域の方々へ感謝の気持ちを伝えたいという意図から出された議題です。事前の計画委員会では、各学年の発達段階についてアドバイスし、分担が過重にならないように配慮します。

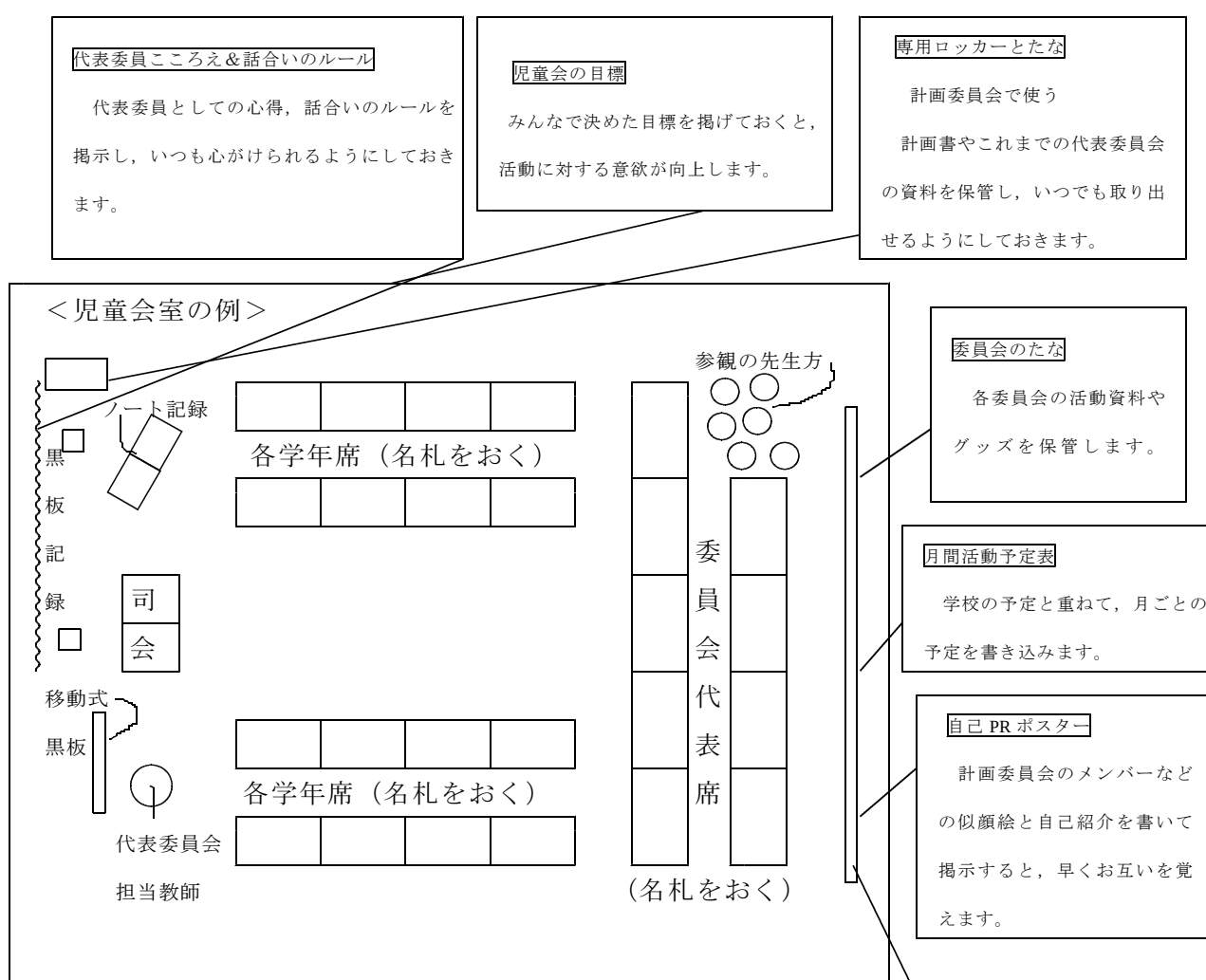


1 3 代表委員会を活性化させるためにはどうすればいいのですか。

計画委員が活動する場所（児童会室）を確保したり，活動したことの蓄積が実感できて達成感をもてるような手だてを講じることが大切です。具体例を次に挙げます。

（１）児童会室の開放

児童会室を常に開放し，計画委員がいつでも活動できるようにしておきましょう。また，掲示物も工夫し，これまでの活動の計画や話合いの流れが分かるようにしておくと，次の活動への意欲をもちやすくなります。さらに，今までの活動の様子やふり返りも分かると，自ずと主体的に活動できるようになります。



学年・学級・委員会・クラブのコーナー
活動報告やお知らせなどを掲示して見せ合います。

(2) 特活コーナーの活用

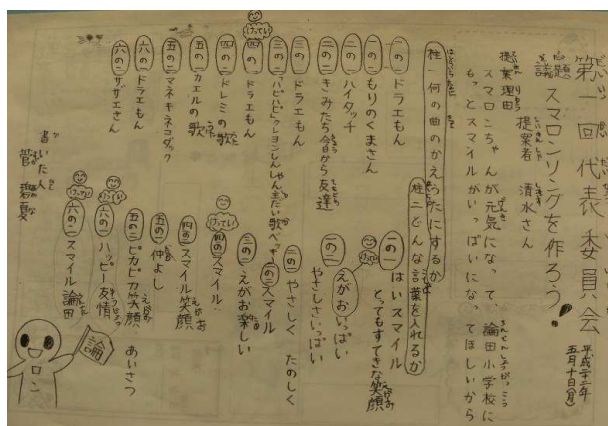
校内の決まった場所（全校児童の目につきやすい所）に特活コーナーを設け、代表委員会からのお知らせや活動の様子などを掲示して、全校児童が関心をもてるようにしましょう。活動の感想を全校児童に書いてもらって掲示し、その感想に対して返事を付箋に書いて貼り、異学年の交流を深めている学校もあります。



(3) 代表委員会だよりの発行

代表委員会を実施した後すぐに代表委員会だよりを各学級に配布し、代表委員会での話合いの内容や決まったことを知らせましょう。

代表委員会のときに計画委員で役割を決めておき、その場で書いて即日発行することも可能です。職員室の先生方への配布（もしくは掲示）も忘れないようにしましょう。



(4) 放送・集会でのお知らせ

放送委員会に働きかけ、代表委員会からのお知らせを給食の時間に流してもらうのも手軽にできることです。また、定期のショート集会の際、代表委員会からのお知らせタイムを設けるのも有効でしょう。

1 4 代表委員会の評価はどうすればいいのですか。

代表委員会では、「今日の話合いでがんばった人」を発表する機会を必ず設け、児童が相互評価し、互いに賞賛し合うと達成感や意欲が増します。計画委員については、ふり回りカードを用いたり短時間のミーティングをしたりして、自己評価できるようにします。

「先生のお話」では、その話合いでよかったことを認め、次の活動への意欲が高まるように評価します。計画委員への労いを忘れないようにしてください。

それらの評価は、学級担任や委員会担当教師に伝え、連携して児童の意欲向上に役立てます。

代表委員会の進め方

1. これから第（ ）回代表委員会を始めます。
2. 出席者を確認します。（学級代表・委員会代表・運営委員・提案者など）
3. 運営委員を確認します。
司会は（ ）（ ）です。～をがんばります。
黒板記録は（ ）（ ）です。～に気をつけます。
ノート記録は（ ）（ ）です。～をします。
代表委員会だよりは（ ）（ ）です。～ようにします。
よろしくお願いします。
4. 今日の議題は（ ）です。
まず、提案理由を確認します。〇〇さん、提案理由を発表してください。
5. 今日、話し合う内容と時間配分は
柱（1） は、（ ）分
柱（2） は、（ ）分
柱（3） は、（ ）分
短い時間なので、どしどし発表してください。
6. それでは、話し合いに入ります。
 - まず、柱（1）の（ ）について意見を発表してください。
 - 出された意見について、質問はありませんか。
 - 賛成意見、反対意見を発表してください。
 - ・全員がなっとくするまで話し合う。
 - ・少ない意見、反対意見の子に意見を求める。
 - ・2つの意見で決まらない場合は、両方をあわせたりまとめたりする
 - 賛成意見が多いので、（ ）に決めていいですか。
 - それでは、（ ）のように決まりました。
 - （ ）の意見の人は、それでいいですか。
 - 次の、柱（2）の（ ）について意見を発表してください。
7. では、今日決まったことをノート記録に発表してもらいます。
8. 今日の話合いで、よかったところやもっとこうしたらよかったところとそのわけを発表してください。
9. 先生の話聞きましよう。
10. これで第（ ）回代表委員会を終わります。

第（ ）回代表委員会活動記録	月	日
----------------	---	---

1 議題

2 提案理由（提案者）

3 話合い

（１）はじめの言葉（ ）

（２）役わりしょうかい

司会（ ）代表委員会だより（ ）

黒板記録（ ）ノート記録（ ）

（３）議題のかくにん

（４）提案理由の発表

（５）話合い

柱 1

--

柱 2

--

柱 3

--

（６）決まったことの発表（ノート記録）

4 先生の話

5 終わりの言葉（ ）